

議案第 4 4 号

辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画の変更について（安住
寺辺地）

安住寺辺地に係る総合整備計画を別紙のとおり変更したいので、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律（昭和 3 7 年法律第 8 8 号）第 3 条第 8 項の規定により準用する同条第 1 項の規定により、議会の議決を求める。

令和 7 年 3 月 1 0 日提出

南あわじ市長 守 本 憲 弘

総 合 整 備 計 画

兵庫県 南あわじ市 安住寺辺地
(辺地の人口 129 人 面積 2.6 k m²)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する市又は字の名称 南あわじ市倭文安住寺
- (2) 地域の中心の位置 南あわじ市倭文安住寺 11-12
- (3) 辺地度点数 133 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

安住寺辺地は市の北部に位置し、倭文地域の山間部にある農村集落である。

【道路施設】(市道背道線外 1 路線 (倭文46号線) 道路拡幅改良事業)

本辺地内における市道背道 (せみち) 線及び倭文46号線は、現況幅員W=3.0m程度の山間部を通る比較的狭小な市道である。

県道倭文五色線及び市道筑穴供養石線へ接続する連絡道としての役割を担うネットワーク的な道路として、近隣住民に通行利用される重要な路線である。

しかしながら、幅員狭小のため、相互通行が不可能であり、かつ道路背後地が自然法面である状態により、降雨等風水害時においても崩土、倒木等による通行不能の懸念があり、安全なネットワーク的な道路としての機能がなされていない状況にある。

このことから、本事業により、車両等の快適、スムーズな通行の確保に加え、安全性を考慮した道路改良を行うことにより、周辺地域住民に通行時の安心感を与えるとともに、地域全体の重要な交通網として整備することにより、地域の振興に大きく寄与することができる。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度から 8 年間 (5 年間)

(単位 千円)

施設名	事業主体名	事業費	財 源 内 訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
道路施設	南あわじ市	145,500 (141,000)		145,500 (141,000)	136,000 (141,000)
合 計		145,500 (141,000)		145,500 (141,000)	136,000 (141,000)

上段：変更後 下段：(変更前)

(別表第 1) 年次別計画表

市町名 南あわじ市

辺地名 倭文安住寺

(単位：千円)

事業名	事業内容	全体			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度								
		事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債				
			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源					
市道背道線外1路線 (倭文46号線)道路 改良事業(変更前)	道路拡幅改良 L=680m W=4.0(5.0) m	141,000		253,000	141,000	4,000		4,000	4,000	17,000		17,000	17,000	36,000		36,000	36,000	52,000		52,000	52,000	32,000		32,000	32,000
市道背道線外1路線 (倭文46号線)道路 改良事業(変更後)	道路拡幅改良 L=680m W=4.0(5.0) m	145,500		145,500	136,000	2,100		2,100	0	7,400		7,400	0	7,000		7,000	7,000	2,000		2,000	2,000	15,000		15,000	15,000
合 計 (変更前)		141,000		253,000	141,000	4,000		4,000	4,000	17,000		17,000	17,000	36,000		36,000	36,000	52,000		52,000	52,000	32,000		32,000	32,000
合 計 (変更後)		145,500		145,500	136,000	2,100		2,100	0	7,400		7,400	0	7,000		7,000	7,000	2,000		2,000	2,000	15,000		15,000	15,000

事業名	事業内容	令和 8 年度			令和 9 年度			令和 1 0 年度											
		事業費	財源内訳		事業費	財源内訳		事業費	財源内訳		事業費	財源内訳		事業費	財源内訳		事業費	財源内訳	
			特定財源	一般財源		特定財源	一般財源		特定財源	一般財源		特定財源	一般財源		特定財源	一般財源		特定財源	一般財源
市道背道線外 1 路線 (倭文46号線) 道路 改良事業(変更前)	道路拡幅改良 L=680m W=4.0(5.0) m																		
市道背道線外 1 路線 (倭文46号線) 道路 改良事業(変更後)	道路拡幅改良 L=680m W=4.0(5.0) m	40,000		40,000	40,000	40,000	40,000	32,000		32,000	32,000								
合 計 (変更前)																			
合 計 (変更後)		40,000		40,000	40,000	40,000	40,000	32,000		32,000	32,000								

(記載要領)

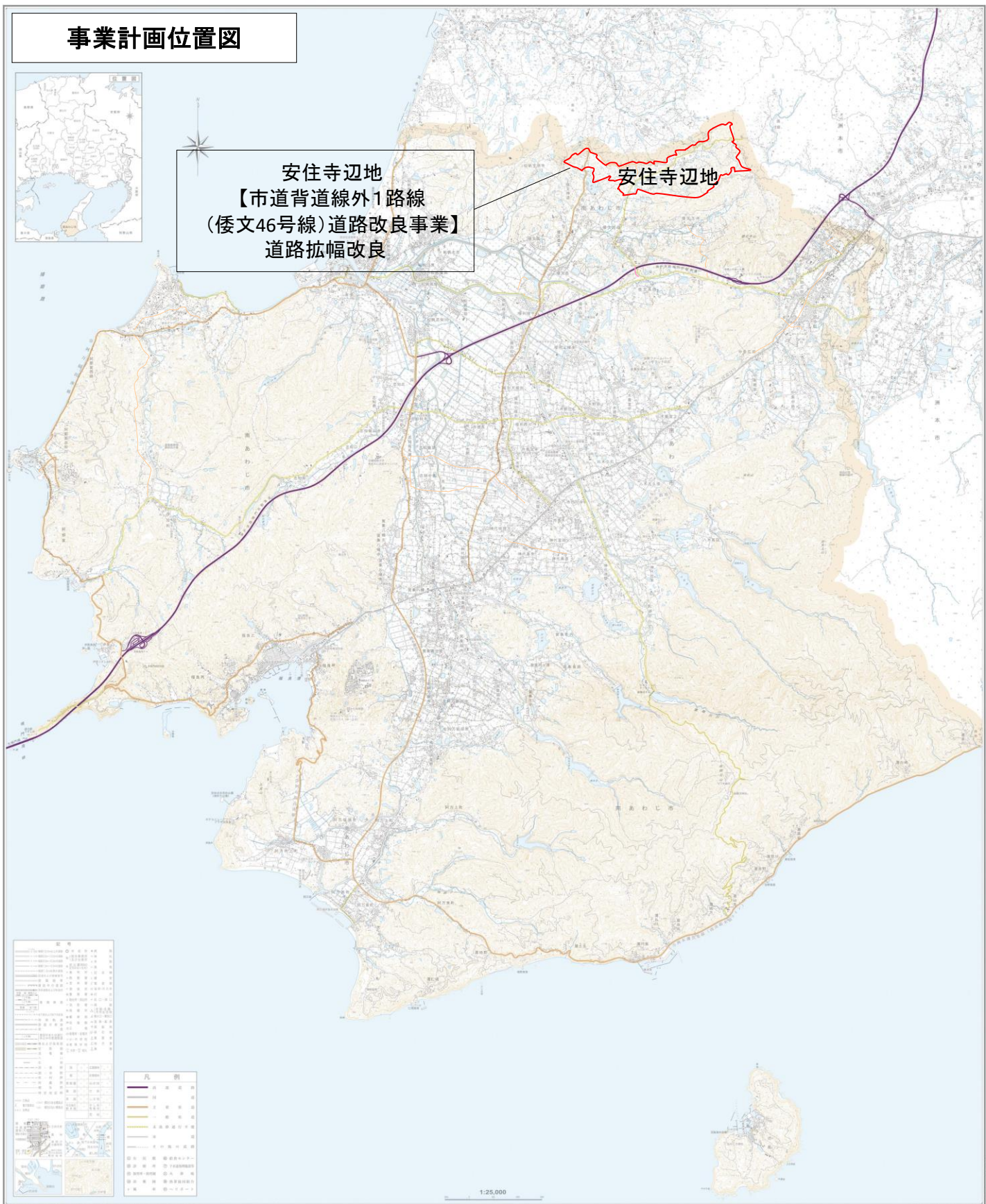
- 1 辺地ごとに作成すること。
- 2 事業名には、具体的名称(町道○○線等)をあげること。
- 3 事業内容については、計画期間内のものを記載すること。
- 4 本表の辺地対策事業債の算出にあたっては、100%充当とすること。

事業計画位置図



安住寺辺地
【市道背道線外1路線
(倭文46号線)道路改良事業】
道路拡幅改良

安住寺辺地



(別表第2)

辺地総合整備計画策定(変更)に係る理由書

市 町 名	南あわじ市	辺 地 名	安住寺辺地
○辺地の概要 当該辺地地区は市の北部に位置し、倭文地域の山間部にある農村集落で、世帯数 55 戸、人口 129 人、面積 2.6 ㎢の辺地である。 ○道路施設(市道背道線外 1 路線(倭文 46 号線)道路拡幅改良事業) ①必要性 県道倭文五色線及び市道筑穴供養石線へ接続する連絡道としての役割を担うネットワーク的な道路として、近隣住民に通行利用される重要な路線である。 ②緊急性 幅員狭小のため、相互通行が不可能であり、かつ道路背後地が自然法面である状態により、降雨等風水害時においても崩土、倒木等による通行不能の懸念があり、安全なネットワーク的な道路としての機能がなされていない状況から早急な整備が必要である。 ③事業効果 車両等の快適、スムーズな通行の確保に加え、安全性を考慮した道路改良を行うことにより、周辺地域住民に通行時の安心感を与えるとともに、地域全体の重要な交通網として整備することにより、地域の振興に大きく寄与する。 ○変更理由 ①計画期間 当初、計画期間を令和 3 年度から令和 7 年度の 5 年間としていたが、既存の道路設計を活用するにあたり、現地測量や設計内容の見直し等に相当の期間を要しそれに伴い用地取得に必要な用地測量及び用地取得時期、工事着手時期が当初計画より 2 年程度遅延した。また、工事期間を 2 年から 3 年に見直したことにより、計画終期を 3 年間延長し、令和 10 年度に変更する。 ②事業費 当初、事業費を 141,000 千円と見込んでいたが、設計内容の見直し及び工事費の試算を行ったところ、物価上昇等による工事費の増額があったため、事業費を 145,500 千円に変更する。			

(記載要領)

まず、総論について記述し、その後各事業ごと(道路なら個別路線ごと)に、①必要性、②緊急性、③効果について詳述すること。

